

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第180号(2022. 3. 1)
事務局 川西地区自主防災会

自主ぼう会員による「森の再生」事業報告

川西地区自主防災会 代表 岩崎正朔

令和2年3月強風により倒れた樹齢約80年のエノキを保護する作業から約2年、新型コロナウイルス感染防止の観点から防災訓練や各種研修の中止等が相次ぐ中、訓練も兼ねて川西地区自主防災会の会員達と行っていた、約4000㎡の竹林の伐採整備から各種苗木の植樹作業がようやく完了したので、皆さんに報告のこととしたい。

<昨年春からの活動振りかえり>

(1) 令和3年3月12日～13日 水路沿いに苗木32本植樹

(2) 苗木に対する「水やり」作業

3月下旬～10月上旬まで軽トラック2台 水タンク500ℓ×2、300ℓ×1、エンジンポンプ2台駆使して、苗木への水やり作業(週1回ペース)

コロナ禍で通常の避難所運営訓練が十分にできないため、訓練を兼ねて避難所での生活用水の確保に活躍する水タンクやエンジンポンプを活用した。

(3) 新たなる(2回目)竹林の伐採と枯竹の撤去作業

①体力の消耗を考え、原則午後0時30分スタートの半日作業として約1500㎡の竹林へ、草刈機の刃を竹切用に付替え、作業するも不慣れのため、計画通りの伐採が出来ない中、手作業による伐採との併用作業によって週末3日間で終了。

②枯竹の処理

竹林に入って分かったことだが、枯竹も10年単位で積み重なっており、一番下の枯竹は、50～60年と放置された結果、手にさわるとボロボロな状態。



(4) 竹林の周辺整備

竹林の周囲に「さざんか」「ヤマブキ」「つつじ類」の植樹を行なうため、竹の根を除去するべく、重機を使用して土中 500mm 位掘削して行いましたが、この処理作業、重機を使っても、大変手間のかかる作業。



(5) 将来、竹の根が進入しないための「しゃへい板」の挿入作業

通称「あぜなみボード」強化プラスチック製（寸法 1200×400）を土中に入れる作業。約 150 枚使用しました。

(6) 100 本を超える苗木の植樹作業（令和 4 年 2 月 25 日）

①高木となるクスノキ、ケヤキ等の植樹

将来森の中心となるべき高木（成長すると 25～30 メートル）、5 メートル間隔で植えつけ、支柱も鳥居タイプで対応しました。



②桜、梅類の植樹

高木から 5.5 メートル離し、桜街道としてソメイヨシノ 11 本を植樹、桜街道から 4 メートル離して、「紅梅、白梅、しだれ梅」を植樹

③平戸つつじ、ヤマブキの植樹

つつじ系の苗木入荷遅れのため、今回は「ヤマブキ」10 本の植樹。



(7) 私達の作業シンボル倒木エノキ（樹齢 80 年）の処分作業

令和 2 年 1 月 8 日の台風並みの強風により倒木した樹齢 80 年のエノキ、この事業にかかわる全員の情熱により、保護され、順調に生育されていましたが、昨年 8 月上旬、キチンと台座によって保持されていた大木のエノキが「何者か」によって台座が吹き飛ばされ、根元部分に、強烈な振動が生じて、昨年 12 月、樹木医によって、アウト宣告を受け、このたびの処分作業。ただし、切断後、コミュニティセンターにおいて、森の再生モニュメント、更にはベンチ等となって私達と今後とも末永いかかわりをもちたいと思っています。助けることが出来なくて、残念でなりません。



(8) まとめ

コロナ禍で防災訓練等が十分にできない中、タンク等を活用した水やりや、重機を活用した掘削作業など、訓練を兼ねた活動を行うことが出来ました。また、適正な間伐・植樹により、土器川流域の水害による被害軽減も期待できると思っています。

丸2年この事業を推行してきましたが、私達の住んでいる地球の環境保護、それぞれの立場の人達が守っていかなくては、いずれペナルティとして、私達に害を及ぼすものと思っています。

この事業も50%の進捗、皆で力を合わせゴールを目指したいと思っています。



情報伝達訓練の実施

ここ8年間、1月下旬に川西地区全体の夜間避難訓練を行なっていましたが、オミクロン株によるコロナ感染者が香川県内も毎日300人を超える状況のため、地域の感染防止のため、夜間避難訓練を中止して、代替訓練として、「情報伝達訓練」を実施しました。

- ・ 訓練日程 令和4年1月30日（日）10.00～11.00
- ・ 訓練想定：南海地震により、震度6強発生
- ・ 情報伝達のポイント（内容）

地区災対本部
（コミュニティセンター）



46自治会長

- ・ 被災内容の把握
- ・ 救助の要請（支援要員の派遣）
- ・ 要配慮者の安否確認（確認済の黄色の布玄関へ）
- ・ 率先避難者の配置人数の確認

○情報伝達要員に6名の自主ぼう女性
会員を配置し、46自治会を分割して
対応（迅速に措置ができた）

◎反省

「率先避難人」の解釈、要するにどの
ような役割かの理解が不十分であった。



※大雨時、避難をためらっている住民を大声で避難を呼びかける人を率先避難人という。